

# 107 広報千代田【拡充】

ちよだみらいプロジェクトの 施策の目標	区民の参画・協働と開かれた区政を実現します
------------------------	-----------------------

<b>事業概要</b>	<b>内容</b>	<p>広報千代田は、区の重点施策や生活情報などを区民・事業所にわかりやすくお伝えするため、月2回（5日、20日）発行している定期刊行物です。</p> <p>現在は主に新聞折込により配布を行っていますが、近年、区内の世帯数が増加し続けている一方で、新聞購読者数が減少しているため、到達率は大きく減少しています。そこで、区民参画の公平性の観点から、全ての区民に確実に区政情報を届けるため、主たる配布方法を「新聞折込」から「事業者による全戸配布（ポスティング）」へ変更するなどの見直しを検討します。あわせて、より「見やすく・扱いやすい・伝わる広報」とするための見直しの検討を進め、区政情報の周知の強化をめざします。</p> <p>見直しの検討にあたっては、平成30年度に実施したテスト配布などの実証実験の結果を踏まえ、効果検証や課題の洗い出しを行いながら、今後の方向性を判断していきます。</p>
	<b>事業開始年度</b>	昭和28年度

<b>事業費・コスト</b>	<b>予算現額</b>		<b>決算額</b>		<b>執行率</b>		
	49,501,000円		45,490,546円		91.9%		
	<b>コスト単位</b>	発行部数1部あたり ( 1,181,000部 )					
	<b>コスト内訳</b>	<b>事業費等 (A)</b>		<b>人件費 (按分) (B)</b>		<b>総コスト (C=A+B)</b>	
		39円	[69.6%]	17円	[30.4%]	56円	[100.0%]

<b>事業実績</b>	<p>○令和元年度実績</p> <p>(1) 発行実績          毎月発行分（毎月5日、20日発行） 24回          特集号（4月5日予算特集号） 1回</p> <p>(2) 発行部数          1,181,000部（毎号約47,000部）</p> <p>(3) 紙面のリニューアル          「見やすく・扱いやすい・伝わる広報」とするため、紙面構成やデザイン（全面カラー化等）を変更しました。</p> <p>(4) 配布方法見直しの検討          配布方法の見直し（「新聞折込」から「事業者による全戸配布（ポスティング）」）を検討するために必要な検証を行いました。</p>
-------------	--

<b>3年度事業実績及び現況への対応</b>	<p>配布方法についてはさらなる検討・検証が必要です。</p> <p>令和3年度は、令和2年度に引き続き、重要施策等を広報紙で発信する際には、新聞折込だけでなくポスティングによる全戸配布を併用するなど、全ての区民へ確実に区政情報を届けることができるよう配布方法の効果検証を行うとともに、広報紙の閲読率を向上させるため、紙面構成やデザインの改善に取り組みます。</p>
------------------------	---

所管課 政策経営部 広報広聴課	決算参考書	224頁	H31予算の概要	189頁
-----------------	-------	------	----------	------

# 108 RPA・AIの導入【新規】

ちよだみらいプロジェクトの 施策の目標	質の高い、効果的で効率的な区政運営を推進します
------------------------	-------------------------

事業概要	内容	人口の増加などによる行政ニーズの拡大・多様化に伴い増加する業務量に対応するため、定型的な業務に係る負担を軽減し、より効果的・効率的なサービスの提供を行えるよう、RPAやAI-OCRの活用を検討します。
	事業開始年度	令和元年度

事業費・コスト	予算現額		決算額		執行率		
	35,970,000円		16,661,150円		46.3%		
	コスト単位	区民1人あたり ( 66,467人 )					
	コスト内訳	事業費等 (A)		人件費 (按分) (B)		総コスト (C=A+B)	
251円		[64.9%]	136円	[35.1%]	387円	[100.0%]	

事業実績	○令和元年度実績																		
	(1) RPA (ソフトウェアロボットによるマウス・キーボード操作などを自動化したツール)																		
	3業務で試行導入し、年間824.2時間の削減効果が見込まれました。																		
	<table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>導入業務</th> <th>現行作業時間</th> <th>RPA導入後</th> <th>削減時間</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>後期高齢者入院時負担軽減助成支払業務</td> <td>500時間</td> <td>150時間</td> <td>350時間</td> </tr> <tr> <td>過料の収納業務</td> <td>728時間</td> <td>288時間</td> <td>440時間</td> </tr> <tr> <td>法定調書作成業務</td> <td>50時間</td> <td>15.8時間</td> <td>34.2時間</td> </tr> </tbody> </table>				導入業務	現行作業時間	RPA導入後	削減時間	後期高齢者入院時負担軽減助成支払業務	500時間	150時間	350時間	過料の収納業務	728時間	288時間	440時間	法定調書作成業務	50時間	15.8時間
導入業務	現行作業時間	RPA導入後	削減時間																
後期高齢者入院時負担軽減助成支払業務	500時間	150時間	350時間																
過料の収納業務	728時間	288時間	440時間																
法定調書作成業務	50時間	15.8時間	34.2時間																
事業実績	(2) AI-OCR (AIを活用することで文字の認識精度を飛躍的に高めたOCR)																		
	1業務で試行導入し、年間12時間の削減効果が見込まれました。																		
	<table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>導入業務</th> <th>現行作業時間</th> <th>AI-OCR導入後</th> <th>削減時間</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>後期高齢者入院時負担軽減助成支払業務</td> <td>33時間</td> <td>21時間</td> <td>12時間</td> </tr> </tbody> </table>				導入業務	現行作業時間	AI-OCR導入後	削減時間	後期高齢者入院時負担軽減助成支払業務	33時間	21時間	12時間							
	導入業務	現行作業時間	AI-OCR導入後	削減時間															
後期高齢者入院時負担軽減助成支払業務	33時間	21時間	12時間																
<p>RPAやAIを利用したツールを導入することで、事務処理時間の削減が見込めるものの、個人情報保護の観点からセキュリティ面に十分留意する必要があることやシステムリプレース、業務に関連する法律の改正などに伴い、都度、更新・変更処理が必要となるなどの課題が明らかになりました。</p> <p>※AI-OCRを安価なサービスで導入したことにより、執行率が低くなりました。</p>																			

3年度事業実績を踏まえた 課題及び現況への対応	<p>RPAやAIツールの導入効果を最大限に発揮するためには、業務の棚卸作業を行い、可視化することなどにより業務そのものの手順や内容について聖域なく見直すことが必要です。</p> <p>令和2年度は、このような課題を踏まえつつ、基幹的な専門定型業務について導入の効果検証を行います。また、膨大な事務処理時間の削減を図るため、AI議事録支援システムや保育園入園選考システムを導入し、効果検証を行います。そのうえで、区としてRPAやAIを利用したツールの活用の方向性を示します。</p> <p>令和3年度は、令和2年度に示す方向性に基づき、取組みを進めていきます。</p>
----------------------------	--

所管課 政策経営部 企画課	決算参考書	224頁	H31予算の概要	191頁
---------------	-------	------	----------	------

# 109 公共用地の広場整備【新規】

ちよだみらいプロジェクトの 施策の目標	質の高い、効果的で効率的な区政運営を推進します
------------------------	-------------------------

事業概要	内容	旧飯田橋保育園・職員住宅跡地及び旧富士見福社会館・児童館跡地について、この地域では再開発が計画されており、当該地の整理がなされるまでの間は、地域からの要望を受けて子どもなどが遊べるよう暫定的に広場の整備を行います。 利用開始後は、適切に維持管理を行っていきます。
	事業開始年度	令和元年度

事業費・コスト	予算現額		決算額		執行率		
	79,900,000円		69,564,000円		87.1%		
	コスト単位	整備1施設あたり (2施設)					
	コスト内訳	事業費等 (A)		人件費 (按分) (B)		総コスト (C=A+B)	
34,782,000円		[89.6%]	4,050,112円	[10.4%]	38,832,112円	[100.0%]	

事業実績	○令和元年度実績	
	 <p>▲飯田橋三丁目広場 (772.56㎡) (令和元年12月9日オープン)</p>	 <p>▲富士見二丁目広場 (705.58㎡) (令和2年2月10日オープン)</p>

3 事業年度実績を踏まえた対応	本事業は、予定されていた広場整備工事を終えたため、令和元年度で完了しました。今後は、区民の皆さんが安全・安心に広場を利用いただけるよう、引き続き関連部署と協力しながら適切に維持管理を行っていきます。
-----------------	---

所管課	政策経営部 施設経営課 (区有施設担当課長)	決算参考書	226頁	H31予算の概要	192頁
-----	---------------------------	-------	------	----------	------

# 110 旧区立外神田住宅区分所有部分取得【補正予算】

ちよだみらいプロジェクトの 施策の目標	質の高い、効果的で効率的な区政運営を推進します
------------------------	-------------------------

事業概要	内容	旧区立外神田住宅は、築後49年を迎え建物の老朽化が著しく耐震性に問題があり、一般緊急輸送道路にも面していることから、解体に向けて、権利者からの権利取得に取り組みます。
	事業開始年度	平成30年度

事業費・コスト	予算現額		決算額		執行率		
	1, 121, 700, 000円		135, 704, 000円		12.1%		
	コスト単位	対象1施設あたり (1施設)					
	コスト内訳	事業費等 (A)		人件費 (按分) (B)		総コスト (C=A+B)	
		135, 704, 000円	[97.7%]	3, 240, 089円	[2.3%]	138, 944, 089円	[100.0%]

事業実績	<p>○令和元年度実績 18者の区分所有者のうち3者の区分所有者から権利を取得しました。 ※権利取得数が当初の想定を下回ったため執行率が低くなりました（予算の一部を令和2年度に繰り越しました）。</p>
------	---

3年度事業実績を踏まえた対応	<p>解体に向けて権利取得を進めていくには、権利者の理解と協力が不可欠です。令和2年度は引き続き、権利者に区の考え方を丁寧に説明するとともに、進捗状況をみながら解体に向け具体的な対応を検討していきます。 令和3年度は、令和2年度の検討状況を踏まえて、取組みを進めていきます。</p>
----------------	---

所管課	政策経営部 施設経営課 (財産管理担当課長)	決算参考書	226頁	H31予算の概要	-
-----	---------------------------	-------	------	----------	---

# 111 防災意識の普及・啓発【拡充】

ちよだみらいプロジェクトの 施策の目標	みんなで助けあう減災のまちづくりを進めます
------------------------	-----------------------

事業概要	内容	区民主体の災害対策を支える取組みとして、地域住民などからなる防災組織が策定する「地区防災計画」「コミュニティ・タイムライン」や各家庭で作成する「マイ・タイムライン」に関する講座を実施するとともに、地区防災計画制度の普及を図るため、地区防災計画の策定に取り組む地区をモデル地区として選定し計画策定を支援します。また、水防法の改正に伴い見直した洪水ハザードマップを区内全世帯に配布するとともに、普段から自らが生活する地域の洪水の危険性を実感できるように、想定される浸水深を公共施設に表示し、ハザードマップの見える化を図ります。
	事業開始年度	(1) 昭和50年度 (2) 令和元年度

		予算現額	決算額	執行率	
事業費・コスト		(1) 防災意識の普及・啓発	26,789,000円	17,310,537円	64.6%
		(2) 地区防災計画策定等の支援	3,978,000円	1,875,000円	47.1%
	コスト単位	(1) 区民1人あたり ( 66,467人 )			
		(2) 計画1件あたり ( 2件 )			
	コスト内訳	事業費等 (A)	人件費 (按分) (B)	総コスト (C=A+B)	
	(1)	260円 [72.8%]	97円 [27.2%]	357円	[100.0%]
(2)	937,500円 [43.6%]	1,215,034円 [56.4%]	2,152,534円	[100.0%]	

事業実績	<p>○令和元年度実績</p> <p>(1) 洪水ハザードマップの作成及び配布 水防法の改正に伴い見直した洪水ハザードマップを区内全世帯及び荒川の浸水想定区域内の地下街等へ配布(約37,000部)しました。</p> <p>(2) 浸水深の表示 ハザードマップの「見える化」を図るため、区内5か所(内幸町ホール・万世橋出張所・和泉橋出張所・練成公園・和泉公園)に想定される浸水深を表示しました。</p> <p>(3) 地区防災計画の策定支援 2つの避難所運営協議会(九段小学校・スポーツセンター)をモデル地区として選定し計画策定を支援しました。 ※「地区防災計画策定支援業務」の契約差金などにより、執行率が低くなりました。</p> <p>(4) 自助・協助に関する意識啓発 ①「地区防災計画」「コミュニティ・タイムライン」「マイ・タイムライン」に関する講座 1回実施 ②洪水ハザードマップの内容や見方に関する説明会 2回実施</p>
------	---

3年度事業実績及び現況を踏まえた対応	<p>令和元年度は、地区防災計画を2地区で策定しましたが、今後も地域防災力の向上をめざし、計画策定を行う地区を増やしていく必要があります。</p> <p>令和2年度は、避難所運営協議会や各地域における防災訓練の場を活用し、地区防災計画の策定方法について普及啓発していきます。</p> <p>令和3年度は、引き続き地区防災計画の策定支援を行うとともに、災害リスクの啓発を進め、防災意識の向上を推進します。</p>
--------------------	---

所管課 政策経営部 災害対策・危機管理課	決算参考書	228頁	H31予算の概要	184頁
----------------------	-------	------	----------	------

# 112 防災訓練【拡充】

ちよだみらいプロジェクトの 施策の目標	みんなで助けあう減災のまちづくりを進めます
------------------------	-----------------------

事業概要	内容	<p>区では、地域の防災力向上のために、地域主体の避難所防災訓練やこれからの地域防災を担う子どもたちを対象とした「みらいの防災リーダー養成講座」を行っています。</p> <p>令和元年度は、より実践的な訓練や講座となるよう、AR（拡張現実）技術を用いた災害の疑似体験などを取り入れていきます。</p> <p>また、乳幼児がいる子育て世代の方を対象とした「ベビーキッズ防災講座」を新たに開催し、訓練に参加する区民のすそ野を広げ、地域一丸となった防災活動を推進していきます。</p>
	事業開始年度	(1) 平成14年度 (2) 昭和45年度

事業費・コスト	予算現額		決算額	執行率	
	(1) 避難所運営協議会		202,000円	0円	0.0%
	(2) 防災訓練		16,705,000円	12,525,864円	75.0%
	コスト単位	(1) 区民1人あたり		( 66,467人 )	
		(2) 参加者1人あたり		( 3,477人 )	
	コスト内訳	事業費等 (A)	人件費 (按分) (B)	総コスト (C=A+B)	
	(1)	0円 [0.0%]	55円 [100.0%]	55円	[100.0%]
(2)	3,602円 [58.4%]	2,563円 [41.6%]	6,165円	[100.0%]	

事業実績	○令和元年度実績			
	<p>令和元年度から実践的な訓練や講座となるよう、みらいの防災リーダー養成講座において、AR（拡張現実）技術を用いた災害の疑似体験を取り入れました。</p> <p>また、乳幼児がいる子育て世代の方を対象とした「ベビーキッズ防災講座」を開催し、訓練に参加する区民のすそ野を広げ、地域一丸となった防災活動を推進しました。</p>			
	年度	避難所運営協議会	避難所防災訓練	みらいの防災リーダー養成講座
令和元年度	14回開催	10回開催 (延べ1,590名参加)	1回開催 (児童12名参加)	1回開催 (保護者12名参加)
平成30年度	17回開催	11回開催 (延べ1,793名参加)	1回開催 (児童16名参加)	

3 事業 年度実績 予算を踏 まえた 対応	<p>ベビーキッズ防災講座を実施し、訓練参加者のすそ野を広げたところですが、既存の避難所防災訓練を含め、全体的に訓練参加者が少ないことが課題になっています。</p> <p>令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止に配慮した訓練の実施を検討するとともに、感染症収束時には訓練参加者を増やすために、訓練等の内容や周知方法を工夫していきます。</p> <p>令和3年度は、令和2年度の訓練結果等を検証し、訓練に反映させながら、地域防災力の向上を図っていきます。</p>
-----------------------------------	---

所管課 政策経営部 災害対策・危機管理課	決算参考書	228頁	H31予算の概要	187頁
----------------------	-------	------	----------	------

# 113 災害対策用物資・機器等の整備【拡充】

ちよだみらいプロジェクトの 施策の目標	みんなで助けあう減災のまちづくりを進めます
------------------------	-----------------------

事業概要	内容	<p>区は、避難所などに、保存水やアルファ化米、缶詰などの食料、携帯トイレなどの必需品をはじめ、乳幼児、高齢者などの要配慮者や女性の視点から、紙おむつやダンボールベッド、女性用衛生用品などの物資配備を行うとともに、有効期限がある物資について適宜入替えを行っています。</p> <p>令和元年度は、液体ミルクなどの新たな物資の情報を収集するとともに、水や食料といった有効期限がある物資について再活用の多様化を図り、食品ロスの削減と防災意識の向上につなげていきます。</p>
	事業開始年度	(1) 昭和41年度 (2) 令和元年度 (3) 昭和47年度

事業費・コスト	予算現額		決算額	執行率	
	(1) 備蓄物資・機器等の整備	82,467,000円	60,204,259円	73.0%	
	(2) 備蓄物資の再活用	3,240,000円	2,295,120円	70.8%	
	(3) 防災設備の維持管理	5,257,000円	4,290,363円	81.6%	
	コスト単位	(1) 区民1人あたり	( 66,467 人 )		
		(2) 再活用1件あたり	( 207 件 )		
		(3) 区民1人あたり	( 66,467 人 )		
	コスト内訳	事業費等 (A)	人件費 (按分) (B)	総コスト (C=A+B)	
(1)	1,137円 [89.5%]	134円 [10.5%]	1,271円	[100.0%]	
(2)	11,088円 [48.6%]	11,739円 [51.4%]	22,827円	[100.0%]	
(3)	65円 [43.3%]	85円 [56.7%]	150円	[100.0%]	

事業実績	<p>○令和元年度実績</p> <p>避難所をはじめ、公共施設等に備蓄している災害対策用備蓄物資について、有効期限到来前に入替えを行うとともに、資器材類について必要な点検を実施しました。</p> <p>また、有効期限が1年以内となった水や食料等に関して、避難所防災訓練や町会のイベントなどで配布するとともに、全国のこども食堂や福祉施設に提供し、食品ロスの削減と防災意識の向上を図りました。</p> <p>■再活用実績</p>				
		水	缶詰	ビスケット	アルファ化米
	防災訓練等	66,768本	17,730缶	5,800食	400食
	防災普及啓発	41,688本	9,144缶	19,100食	0食
	防災教育	0本	0缶	700食	0食
	こども食堂	0本	26,928缶	0食	0食
	福祉施設	0本	9,924缶	0食	0食

3 事業年度実績を踏まえた対応	<p>有効期限が短い食料は、倉庫に備蓄できる年数が限られ、入替えにかかるコストが高くなっています。</p> <p>令和2年度は、食料等の備蓄物資について、入替えや再活用にかかるコストを勘案し、より望ましい物資の選定を図っていくとともに、より多くの団体に再活用物資を提供できるよう業務内容を改善していきます。</p> <p>令和3年度は、令和2年度の取組みを踏まえ、引き続き食品ロスの削減と防災意識の向上につなげていきます。</p>
-----------------	---

所管課 政策経営部 災害対策・危機管理課	決算参考書	228頁	H31予算の概要	186頁
----------------------	-------	------	----------	------